

ピース・ウイング長崎 会報

平和の翼

139号

■公益財団法人長崎平和推進協会 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 ■電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
<http://www.peace-wing-n.or.jp>

- 「長崎平和の日」関連写真、長崎平和宣言
- 「長崎国際平和映画フォーラム2013」のお知らせ
- 「市民のつどい」のお知らせ
- 米国の核性能実験に対する抗議文
- 大村市競艇企業局様からの寄付金贈呈について
- 「アジア青年平和交流事業」認定事業が決定
- 「秋月グラント」助成団体紹介
- 「平和案内人育成講座」受講生募集
- TOPICS! (被爆者健康講話予定、核兵器廃絶ー地球市民集会ナガサキのお知らせ など)

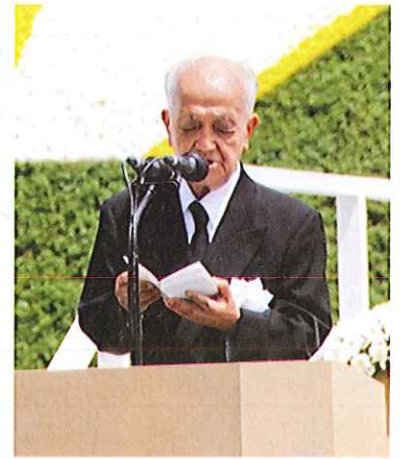


8月8日に開催された「平和の灯キャンドルライトアップ&コンサート」
当協会職員もスタッフとしてキャンドル作製や当日の運営に参加しました。

～核兵器のない世界の実現へ～

8月9日、平和公園において「被爆68周年 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」が執り行われました。式典会場やその周辺では、原爆犠牲者への追悼と、平和な世界を願ってさまざまな行事が行われました。

追悼平和祈念館では、祈念式典の模様の中継や、二胡によるラウンジコンサートを開催しました。



平和への誓いを読み上げた築城昭平さん
(継承部会員)



万灯流し



平和の灯キャンドルライトアップ



祈念館でのラウンジコンサート



祈念館での式典中継



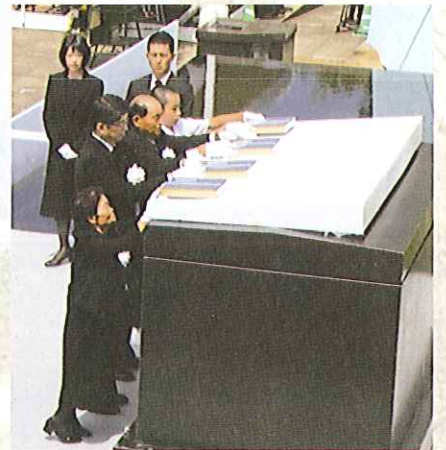
献水を行った尾畑正勝さん(継承部会員・右から2人目)



「平和の祈り キッズゲルニカ in 長崎」
(秋月 Grant 助成事業)



うちゅうぼくはつがくだんの紙芝居公演
(秋月 Grant 助成事業)



死没者名簿の奉安を行った早崎猪之助さん
(継承部会員・手前から3人目)

追悼平和祈念館を訪れた多くの人が足を止め、写真展に見入っていました。



写真展を見学する来場者

写真資料調査部会の写真展「写真で見る同心円」が追悼平和祈念館交流ラウンジで開催され、約1万6千人が来場しました。同心円をテーマとしたこの写真展では、長崎の街に同心円に広がった被害の様子や距離別の惨状の違いがわかりやすく展示され、

8月1日～9月8日
写真展「写真で見る同心円」



8月7日～9日は、平和案内人を増員して館内の案内をしました。

長崎平和宣言

68年前の今日、このまちの上空にアメリカの爆撃機が一発の原子爆弾を投下しました。熱線、爆風、放射線の威力は凄まじく、直後から起こった火災は一昼夜続きました。人々が暮らしていたまちは一瞬で廃墟となり、24万人の市民のうち15万人が傷つき、そのうち7万4千人の方々が命を奪われました。生き残った被爆者は、68年たった今もなお、放射線による白血病やがん発病への不安、そして深い心の傷を抱え続けています。

このむごい兵器をつくったのは人間です。広島と長崎で、二度までも使ったのも人間です。核実験を繰り返し地球を汚染し続けているのも人間です。人間はこれまで数々の過ちを犯してきました。だからこそ忘れてはならない過去の誓いを、立ち返るべき原点を、折にふれ確かめなければなりません。

日本政府に、被爆国としての原点に戻ることを求めます。

今年4月、ジュネーブで開催された核不拡散条約（NPT）再検討会議準備委員会で提出された核兵器の非人道性を訴える共同声明に、80か国が賛同しました。南アフリカなどの提案国は、わが国にも賛同の署名を求めました。

しかし、日本政府は署名せず、世界の期待を裏切りました。人類はいかなる状況においても核兵器を使うべきではない、という文言が受け入れられないとすれば、核兵器の使用を状況によっては認めるという姿勢を日本政府は示したことになります。これは二度と、世界の誰にも被爆の経験をさせないという、被爆国としての原点に反します。

インドとの原子力協定交渉の再開についても同じです。

NPTに加盟せず核保有したインドへの原子力協力は、核兵器保有国をこれ以上増やさないためのルールを定めたNPTを形骸化することになります。NPTを脱退して核保有をめざす北朝鮮などの動きを正当化する口実を与え、朝鮮半島の非核化の妨げにもなります。

日本政府には、被爆国としての原点に戻ることを求めます。

非核三原則の法制化への取り組み、北東アジア非核兵器地帯検討の呼びかけなど、被爆国としてのリーダーシップを具体的な行動に移すことを求めます。

核兵器保有国には、NPTの中で核軍縮への誠実な努力義務が課されています。これは世界に対する約束です。

2009年4月、アメリカのオバマ大統領はプラハで「核兵器のない世界」を目指す決意を示しました。今年6月にはベルリンで、「核兵器が存在する限り、私たちは真に安全ではない」と述べ、さらなる核軍縮に取り組むことを明らかにしました。被爆地はオバマ大統領の姿勢を支持します。

しかし、世界には今も1万7千発以上の核弾頭が存在し、その90%以上がアメリカとロシアのものです。オバマ大統領、プーチン大統領、もっと早く、もっと大胆に核弾頭の削減に取り組んでください。「核兵器のない世界」を遠い夢とするのではなく、人間が早急に解決すべき課題として、核兵器の廃絶に取り組み、世界との約束を果たすべきです。

核兵器のない世界の実現を、国のリーダーだけにまかせるのではなく、市民社会を構成する私たち一人ひとりにもできることがあります。

「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにする」という日本国憲法前文には、平和を希求するという日本国民の固い決意がこめられています。かつて戦争が多くの人命を奪い、心と体を深く傷つけた事実を、戦争がもたらした数々のむごい光景を、決して忘れない、決して繰り返さない、という平和希求の原点を忘れないためには、戦争体験、被爆体験を語り継ぐことが不可欠です。

若い世代の皆さん、被爆者の声を聞いたことがありますか。「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ウォー、ノーモア・ヒバクシャ」と叫ぶ声を。

あなた方は被爆者の声を直接聞くことができる最後の世代です。68年前、原子雲の下で何があったのか。なぜ被爆者は未来のために身を削りながら核兵器廃絶を訴え続けるのか。被爆者の声に耳を傾けてみてください。そして、あなたが住む世界、あなたの子どもたちが生きる未来に核兵器が存在していいのか。考えてみてください。互いに話し合ってみてください。あなたたちこそが未来なのです。

地域の市民としてできることもあります。わが国では自治体の90%近くが非核宣言をしています。非核宣言は、核兵器の犠牲者になることを拒み、平和を求める市民の決意を示すものです。宣言をした自治体でつくる日本非核宣言自治体協議会は今年、設立30周年を迎えました。皆さんが宣言を行動に移そうとするときは、協議会も、被爆地も、仲間として力をお貸しします。

長崎では、今年11月、「第5回核兵器廃絶-地球市民集会ナガサキ」を開催します。市民の力で、核兵器廃絶を被爆地から世界へ発信します。

東京電力福島第一原子力発電所の事故は、未だ収束せず、放射能の被害は拡大しています。多くの方々が平穏な日々を突然奪われたうえ、将来の見通しが立たない暮らしを強いられています。長崎は、福島の日も早い復興を願い、応援していきます。

先月、核兵器廃絶を訴え、被爆者援護の充実に力を尽くしてきた山口仙二さんが亡くなりました。被爆者はいよいよ少なくなり、平均年齢は78歳を超えました。高齢化する被爆者の援護の充実にあらためて求めます。

原子爆弾により亡くなられた方々に心から哀悼の意を捧げ、広島市と協力して核兵器のない世界の実現に努力し続けることをここに宣言します。



2013年（平成25年）8月9日

長崎市長 田上 富久

「長崎国際平和映画フォーラム2013」

今年で4回目となる「長崎国際平和映画フォーラム」が10月19日(土)、20日(日)および26日(土)、27日(日)の2週4日間にわたって開催されます。

最新作や話題作の上映のほか、地元テレビ局製作のドキュメンタリー番組の放映や朗読劇の上演など、多彩なプログラムで皆さまのご来場をお待ちしています。ぜひご来場ください。



■は、映画等の上映です。

原爆資料館ホール(平野町7-8)

追悼平和祈念館交流ラウンジ(平野町7-8)

10月19日(土)

- 10:15 オープニングセレモニー
- 10:30 **「爆心 長崎の空」** 2013年・110分
監督:日向寺太郎 主演:北乃きい、稲森いずみ
- 12:30 石田優子監督挨拶
「はだしのゲンが見たヒロシマ」 2011年・77分
- 14:05 **アニメ「はだしのゲン」** 1983年・86分
監督:真崎守
- 16:05 **「あの日あの時愛の記憶」** 2011年・111分
監督:アンナ・ジャスティス
(終了 18:00)

- 11:00 ピースネット「ロサンゼルスと結ぶ」
内容:長崎とロスと間のトークセッションなど
- 14:30 **「はだしのゲンが見たヒロシマ」**の製作関係者によるトークセッション
- 15:40 NBC**「静かな声」** (英語字幕版)上映&意見交換会
(終了 17:00)

10月20日(日)

- 10:00 **「幻の全原爆フィルム日本人の手へ!!!」**
1982年・60分 監督:熊谷博子
- 11:15 坂田雅子監督挨拶
「沈黙の春を生きて」 2011年・87分
- 13:30 **「シンドラのリスト」** 1993年・195分
監督:スティーブン・スピルバーグ
(終了 16:45)

- 10:15 **「在米被爆者証言映像」**上映
- 11:10 NBC**「神と原爆」** (英語字幕版)
- 12:10 NCC**「私は原爆を伝えたかった」** (英語字幕版)
- 13:45 **「坂田雅子監督を囲んで」**(トークショー)
- 15:15 **「被爆体験記朗読・紙芝居会&二胡演奏」**
出演:活水高校/小ヶ倉中学校/長崎市役所二胡愛好会
(終了 17:00)

10月26日(土)

- 10:30 **「あの日この校舎で~50年前に被爆したナガサキの記録」** 1997年・30分 監督:吉川透
- 11:15 **「二重被爆~語り部・山口彊の遺言」**
2011年・70分 監督:稲塚秀孝
- 13:00 朗読劇**「ヒロシマ・ナガサキ」**
出演:本郷 弦(無名塾)、樋口泰子(無名塾)
被爆体験記朗読ボランティア
- 14:30 **「人間の条件」第一部** 105分
- 16:30 **「人間の条件」第二部** 96分
(終了 18:10)

- 12:30 **アニメ「ひめゆり」** (英語字幕版)
2012年・30分 製作:ひめゆり平和祈念財団
- 13:15 KTN**「沈黙のマリア」** (英語字幕版)
上映&製作関係者によるトークセッション
(終了 15:20)

「人間の条件」(1959~61年)小林正樹監督
五味川純平のベストセラーの映画化。戦前の満鉄に勤務する主人公 梶を通じ、戦時下(中国・満州)における人間性を描いた作品。第一部 純愛篇、第二部 激怒篇、第三部 望郷篇、第四部 戦雲篇、第五部 死の脱出篇、第六部 曠野の彷徨篇。

10月27日(日)

- 10:00 **「人間の条件」第三部** 102分
- 13:00 **「人間の条件」第四部** 75分
- 14:30 **「人間の条件」第五部** 90分
- 16:10 **「人間の条件」第六部** 104分
(終了 18:00)

- ☆すべてのプログラムは入場無料です。
- ☆映画フォーラムに来場された方は、原爆資料館入館料が無料になります。また、資料館内の喫茶「セントポール」での飲食代が5%割引となります。
- ☆プログラムの内容や上映時間は、予告なく変更になることがあります。あらかじめご了承ください。
- ☆お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。(最寄りのバス停・電停「浜口町」)

国連軍縮週間 「市民のつどい」

と き：10月26日（土） 10：00～13：00

ところ：原爆資料館前階段下広場

協会では、国連軍縮週間（10月24日～30日）に合わせて「市民のつどい」を開催します。

どなたでも気軽に参加できて楽しめるイベントですので、ぜひご来場ください。

戦時食コーナー



エコ風船コーナー



折り鶴コーナー



原爆被爆写真展



ミニコンサート



綿菓子・ポップコーン



米国の核性能実験に対し抗議文を送付しました

長崎平和推進協会は、オバマ政権下で9回目となる核性能実験が本年4月から6月の間に実施されたとの報道を受け、オバマ大統領へ抗議文を送付しましたので、その文面を掲載します。

抗議文

2013年8月21日

アメリカ合衆国大統領
バラク・H・オバマ 閣下

公益財団法人 長崎平和推進協会
理事長 横瀬 昭幸

貴国が、本年4月から6月までの間に新型核性能実験を実施したとの報道に接しました。

この報道が事実とすれば、被爆地長崎において官民一体となり核兵器廃絶・世界恒久平和の実現を目指している私ども「公益財団法人長崎平和推進協会」にとって、到底受け入れることができない所業であります。

2009年4月の「プラハ演説」を支持する声明を出し、本年6月の「ベルリン演説」にも新たな期待を抱いた当協会としては、裏切られた思いがしております。

貴国の行為に対し、人類史上で唯一、広島とともに核兵器のもたらす惨劇を体験した長崎の被爆者や市民は、大きな憤りと危機感を抱いております。いかなる形であれ、核兵器の維持や開発につながる行為は容認できません。

ここに、被爆地長崎の平和推進協会理事長として、今回の実験に強く抗議すると同時に、私どもの切なる訴えをお聞き届けいただき、全ての核兵器関連の実験を放棄して、地球上から核兵器をなくすため共に歩んでいただくよう要請いたします。

大村市競艇企業局様より寄付をいただきました

平成21年度から毎年8月9日の「長崎原爆の日」に実施されたボートレース収益金の一部をご寄付いただいている大村市競艇企業局様より、今年も50万円の寄付をいただきました。

8月19日に行われた寄付金贈呈式では、同局の田中克史局長から横瀬理事長に目録が贈呈され、横瀬理事長からは感謝状と記念品をお渡ししました。



横瀬理事長と田中克史局長

いただいた寄付金は、協会が実施するさまざまな平和推進事業に有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

平成25年度 「アジア青年平和交流事業」認定事業が決定

7月21日にアジア青年平和交流事業「自分たちが考えるアジアの若者同士の国際・平和交流プログラム 公開コンペティション」を開催し、今年度の認定事業が決定しました。

コンペティションでは、応募のあった活水高校と長崎外国語大学よりそれぞれ自分たちが考えた企画についてプレゼンテーションが行われ、どちらの企画も非常に意義深く、若者らしい取り組みであるとの評価を得て、認定されました。認定された企画概要は次のとおりです。

活水高校 平和学習部

ふりそでプロジェクト・チーム
企画概要…認定事業として過去2年間で進めてきた同プロジェクトをさらに充実させる形で、「ふりそでの少女」の絵本の多言語化（中国語、韓国語、マレー語）などを進め、アジアの若者との交流に加え欧米にも交流の輪を広げていく。

長崎外国語大学

国際交流サロン・チーム
企画概要…長崎県内在住の外国人と日本人の異文化交流の機会（各国の固有の文化を象徴する「食」を中心に据えて）を作るため、国際交流サロン（昨年度認定事業）をさらに発展させて交流を図り、国際平和観光都市としての知名度向上にも貢献していく。

各認定事業において開催するイベント等は、今後も会報等でお知らせします。



審査員と応募者のみなさん

秋月グラント

助成団体紹介

協会の助成制度である「秋月グラント」では、今年度もこれまでに3団体に助成を行いました。助成を行った団体・事業内容を紹介します。

「平和の旅へ」合唱団

故・渡辺千恵子さんの半生を合唱と語りにした構成組曲「平和の旅へ」をニュージージーランドの2都市で公演し、また会場で原爆写真パネル展を開催しました。

うちゅつばくはつがくだん

さまざまな歴史や価値観をテーマに、子どもも大人も楽しめる音楽付きの長編紙芝居を制作している紙芝居楽団。

長崎原爆をテーマにした新作「アカの世界の魔法使い」を長崎市と東京都渋谷区で上演しました。

長崎親善人形の会(瓊子の会)

世界中のさまざまな地域の子どもたちがパパロ・ピカソの「ゲルニカ」に倣い、同サイズの巨大キャンバスに平和の絵を描くプロジェクト「平和の祈り キッズゲルニカ in長崎」を開催。

作品は原爆落下中心地公園の脇を流れる下の川斜面に展示されました。

第5期生 平和案内人を募集します

平成17年度から活動を開始した「平和案内人派遣事業」も、今年で9年目を迎えました。

被爆68年が経過し、被爆者は年々高齢化し被爆の惨状を語ることができる人が少なくなっているなか、「平和案内人」は原爆や平和に対する理解を深め、被爆の実相と平和の尊さを伝えることを目的に活動しています。

これまでに4回の平和案内人育成講座を開講し、現在134人の平和案内人が原爆資料館や追悼平和祈念館、被爆建造物等のボランティアガイドを行っております。

昨年度も3万人を超える方々を案内し、平和案内人の認知度が年々高まるなか、3年ぶりに平和案内人育成講座を開講いたします。育成講座では、被爆体験講話を通して被爆者の心を感じるとともに、原爆後障害や核問題について専門家から学ぶほか、原爆資料館や被爆建造物等を実際にめぐり、ガイドに必要な知識を習得します。

平和への思いを多くの人に伝えるために、「平和案内人」として一緒に活動しませんか。ぜひご応募ください。



(近年の案内実績)

年度	案内者数
平成20年度	24,986人
平成21年度	29,938人
平成22年度	28,836人
平成23年度	32,140人
平成24年度	32,201人

※案内者数は、原爆資料館常駐ガイド・予約ガイド・碑めぐりガイドの利用者の合計です

講座内容

- 講座期間 平成25年11月23日（土・祝）～平成26年3月11日（火）の火曜日・土曜日
- 講座時間 火曜日18：30～20：00、土曜日13：30～16：30（原則）
※基本的に、火曜日と土曜日の開催です。
- 講座回数 全16回（予定） ※13回以上出席した方のみ修了生として平和案内人に登録できます。
- 場 所 長崎原爆資料館 平和学習室ほか（長崎市平野町7番8号）
- 応募資格 満18歳以上（高校生は除く）で、平成26年5月からの平和案内人活動（ボランティア）に参加できる方。
- 申込方法 お申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、郵送またはFAXでお申し込みください。
※お申し込み用紙は、長崎原爆資料館・市役所各支所・市内公民館などに設置しています。協会ホームページからもダウンロードできます。
- 申込締切 平成25年11月1日（金）必着

被爆者健康講話のお知らせ

10月～12月の講話予定をお知らせいたします。長崎・五島会場ともに、参加ご希望の方は追悼平和祈念館までご連絡ください。

と き：14：00～15：00

ところ：追悼平和祈念館地下1階研究室(長崎会場)
福江総合福祉保健センター2階研修室(五島会場)

申込み・お問い合わせ：追悼平和祈念館

☎ (095) 814-0055

	と き	テ ー マ
第5回	10月17日(木)	「痛みのない明日を目指して…」
第6回	11月21日(木)	「放射線治療について(仮)」
第7回	12月19日(木)	「脂質異常症について(仮)」

「第5回核兵器廃絶—地球市民集会ナガサキ」開催のお知らせ

ナガサキとヒロシマが長年訴え続けてきた声が、今、「核兵器の非人道性」として世界に注目されています。この集会を通して、「核兵器のない平和な世界」の実現のために何ができるかを考えてみませんか。



と き：11月2日(土)～4日(月・休)

ところ：長崎原爆資料館ホール、長崎市平和会館ホール

お問い合わせ：核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会

☎ (095) 844-1236 <http://ngo-nagasaki.com/>

市民対象碑めぐりを開催しました

9月8日、継承部会原爆遺跡研修班が主催する「市民対象碑めぐり」を開催し、約70人の参加者が、三菱兵器住吉トンネル工場跡や旧長崎師範学校・寮などをめぐりました。

当時、動員学徒として住吉トンネル工場でねじを作る仕事に従事し、長崎師範学校の寮で被爆した築城昭平さんから、工場での勤務状況や被爆時の様子を詳しく説明していただきました。

参加者からは、「被爆者から、当時実際にいた場所で当時の話を聞くことができる貴重な機会で、勉強になった」との感想が聞かれました。



世界の核弾頭の数(2013年8月1日現在)

ロシア	米 国	フランス	中 国	英 国	イスラエル	パキスタン	インド	北朝鮮	合計
～8,500	～7,700	300	250	225	80	100～120	90～110	<10	～17,300

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)提供 <http://recna.nagasaki-u.ac.jp/>

会員数報告

◎維持会員

1、122人

◎賛助会員

150人

◎学生会員

9人

平成25年9月13日現在

寄付者紹介

ありがとうございます

◎大村市競艇企業局

五十万円

◎(株)フロレ総合研究所

十万円

◎ドリームワールドオオハタ

一万円

◎霧 哲爾

六千円

◎大畑 敦

百円

◎匿名

二千元

会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。

今年度まだ会費を納めていない方は、何卒趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局で納入くださいますようお願いいたします。

賛助会員(法人・団体)の一覧を協会ホームページに掲載しました。ご支援・ご協力誠にありがとうございます。